

# ディベート入門

立教大学 経営学部 教授  
日本ディベート協会 専務理事  
松本 茂

## ディベートの経験は？

【質問】

授業やクラブ活動などで、  
ディベートをしたことがありますか？

## ディベートって？

【質問】

ディベートの主な目的は、  
「相手を言い負かすこと」である。

○か×か？



## ディベートって？

【質問】

ディベートの主な目的は、  
「相手を説得すること」である。

○か×か？



## ディベートを定義すると・・・

ある論題に対して、対立する立場をとるディベーター同士が、聴衆を論理的に説得するために議論すること。

松本茂・他(2009)『英語ディベート 理論と実践』  
(玉川大学出版部)

## ディベートを成立させるための3要素

- ①論題(議論の枠組みを設定)
- ②ディベーター(議論する人)
- ③聴衆(議論を聞く人、評価する人)

## 専門家が行うディベート

### 【質問】

専門家が行うディベートには、  
どんなものがあります？

## 専門家が行うディベート

- ✓ 裁判
- ✓ 党首討論
- ✓ 大統領候補のテレビ討論
- ✓ 学会会議での討議
- ✓ 会社での戦略会議での討議

## 議論って・・・

- ✓人間らしい行為（誰もがしている）
- ✓中高生よりも大学生に求められることが多い
- ✓研究者はつねにしている

## 日常生活で行う議論の「論題」

### 判断論題

- ✓日本は東京オリンピックで多くの金メダルを獲得する
- ✓〇〇大学の学食は××大学の学食よりもおいしい

### 政策論題

- ✓わが家は夏休みに海外に行くべきである
- ✓〇〇大学はボランティア活動を単位化すべきである

## ディベートは何のために必要か？

- ✓ 社会的合意の形成（「真実」の確定）
- ✓ 隠れているリスクの発見

## 教育ディベートの特徴とは？

- ✓ 人間関係を考慮しない（上下関係等を意識しない）
- ✓ 発言の機会がほぼ均等にある
- ✓ 論証の優劣に焦点を絞って評価する

## 教育ディベートの捉え方

- ✓ 論題の是非を問うシミュレーションである
- ✓ 客観的だと思っている自分の意見の  
思い込みや偏見に気づく体験である
- ✓ 「議論を肯定する組織文化」を  
形成するのに役立つ手法である

## 教育ディベートの個人的な効果

- ✓ 時事問題への関心が高まる
- ✓ 論理的思考が向上する
- ✓ 他人の意見を無批判に受け入れなくなる
- ✓ 反論されても感情をおさえられるようになる
- ✓ コミュニケーションが展開している状況を俯瞰  
(ふかん)できるようになる
- ✓ 聞く力、読む力、話す力、書く力、まとめる力、  
分析する力などがつく



## 論 題

「日本は小学校における英語教育をさらに強化すべきである、是か非か。」

- ✓現在の「外国語活動」を「外国語(英語)」という  
正規科目にする
- ✓現在、5・6年生を対象としている指導を少なくとも  
3年生以上とする

### 議論の見つけ方(分析のためのポイント)

[肯定側が証明すべき論点]

- ① 問題(利益)の重大さ
  - ・現状に重大な問題がある
  - ・論題を採択することによって重大な利益が生じる

## 議論の見つけ方(分析のためのポイント)

### ② 論題との関連

- ・問題は、論題を採択していない現在の政策に起因している
- ・論題を採択すると、利益が発生する

## 議論の見つけ方(分析のためのポイント)

### ③ メリットの重要性

- ・論題は問題を解消し(軽減させ)、それは重要なことである
- ・論題によって生み出される新たな利益は重要である

## 議論の見つけ方(分析のためのポイント)

[否定側が証明すべき点(肯定側の(1)-(3)への反論に加えて)

### ④ 不利益(デメリット)

- ・論題が新たな問題を生み出す
  - 1) デメリットが生じる過程・理由
  - 2) デメリットの深刻さ
  - 3) メリットとの比較

## 教育ディベート進行形式(例)

✓ 肯定側立論	4分
✓ 否定側質疑	2分
✓ 否定側立論	4分
✓ 肯定側質疑	2分
✓ 準備時間	2分
✓ 否定側反論	3分
✓ 肯定側反論	3分
✓ 準備時間	2分
✓ 否定側反駁	3分
✓ 肯定側反駁	3分

## マイクロ・ディベート進行形式

- ✓ 肯定側立論 1分
- ✓ 否定側質疑 1分
- ✓ 否定側立論 1分
- ✓ 肯定側質疑 1分
- ✓ 準備時間 1分
- ✓ 否定側反論 1分
- ✓ 肯定側反論 1分
- ✓ 準備時間 1分
- ✓ 否定側反駁 1分
- ✓ 肯定側反駁 1分

## 教育ディベート進行形式

- ✓ 立論
- ✓ 質疑
- ✓ 反論
- ✓ 反駁
- ✓ 判定の発表と講評

## 各パートですべきこと

- ✓立論: 論題を採択すべき(すべきでない)という論を立てる(主な論点はすべて説明する)
- ✓質疑: ① 相手の立論の内容を確認する  
② 反論の糸口を見つける
- ✓反論: 立論の主な議論、重要な証拠資料等に反論する
- ✓反駁: 反論された自分たちの議論を建て直す  
自分たちのチームの議論のほうが勝っていること点を説明する

## よいディベートをするためのコツ

- ✓対戦相手をリスペクトする
- ✓立論で提示する主たる議論の数を絞りこむ
- ✓各議論に番号とラベル(見出し)をつける
- ✓ノートをしっかりと取る
- ✓立論以外は事前に用意した完全原稿を読まない
- ✓審判がノートが取りやすいように話す

## 実際の準備のステップ(1)

- ✓ブレインストーミングを行う(論題についての思いつくことなどを述べ合う)
- ✓背景知識を得るためのリサーチを行う
- ✓立論のアウトラインを作成する
- ✓役割分担を決める
- ✓証拠探しのリサーチを行う

## 実際の準備のステップ(2)

- ✓肯定側立論を作成する
- ✓否定側立論を作成する
- ✓反論、反駁の議論を考える
- ✓質疑に備える
- ✓口頭練習をする
- ✓練習試合をする

## 肯定側立論

### 【序論】

われわれは、「日本は小学校における英語教育をさらに強化すべきである」という論題に対して肯定の立場を取ります。

## 肯定側立論

### 【本論①】

この論題を採択すると、「  
うメリットが生じます。」とい

現状では、「  
ます。＜説明要＞」という問題があり

## 肯定側立論

### 【本論②】

論題を採択すると、「」と  
いうメリットが発生します。

＜メリットが発生する過程について説明要＞

## 肯定側立論

### 【本論③】

この新たに発生するメリット「」  
という重要なものです。

＜メリットの重大さについて説明要＞



## 肯定側立論

### 【結論】

以上のような理由で、われわれは「日本は小学校における英語教育をさらに強化すべきである」と主張します。

## 否定側立論

### 【序論】

われわれは、「日本は小学校における英語教育をさらに強化すべきである」という論題に対して否定の立場を取ります。

## 否定側立論

### 【本論①】

この論題を採択すると、「  
うデメリットが生じます。」とい

まず、論題が採択されることによって、  
「  
」ということが実施されます。

<論題の意図について説明要>

## 否定側立論

### 【本論②】

以上のことが実施されると、「  
いう事態が生じます。」と

<発生する過程について説明要>



## 質 疑

### 〔確認〕

- ✓○○○(例 メリット)は何ですか？
- ✓○○○とおっしゃったことについて何か論拠を提示されましたか？

### 〔反論の糸口〕

- ✓○○○は大切ですよ？
- ✓○○○でなければいいのですよね？

## 反 論

- ✓反論する相手の議論を述べる
- ✓まとめて反論できればグループ化する
- ✓反論がいくつあるかを述べる
- ✓反論の結論をまず述べる
- ✓反論の論拠をつぎに述べる
- ✓基本的に主な議論にはすべて反論する

## 反駁

- ✓自分たちの立論の議論を簡単に繰り返す
- ✓相手の反論を簡単に述べる
- ✓反駁の議論がいくつあるかを述べる
- ✓反駁の結論をまず述べる
- ✓反駁の論拠をつぎに述べる
- ✓相手が反論しなかった議論に触れる
- ✓メリットとデメリットの比較をする

## 「振り返り(省察)」

- ✓チームとしてどうして機能したのか(しなかったのか)を考える、評価し合う
- ✓チームの一員として自分は何をすべきだったかを考える
- ✓自分は今後どういう勉強、体験を積むべきかを考える